

● The talk in KOBE 街のおしゃべり

阪急六甲界隈の巻



高原の駅・阪急六甲駅を知る人は多い。藤棚が日陰をつくり、そこにたむろする若人の群が、遠く六甲ケーブルまで続く日々が、阪急六甲を物語る人の想い出と連なっている。

★優雅な高原の駅・阪急六甲

―昔は本当に良かったですね。小さな山小舎のような阪急六甲駅をおりと、さあ、山にのぼるんだという気分が湧いてきたワ。

―昭和40年ぐらいから、このあたりが急激に変化してきた。一つは鶴岡団地をはじめ 神戸大学の学舎統合を契機に阪急六甲駅の東北地区が開け、住宅が建ち並んだこともあるし、更に、神戸高速鉄道にともなう山陽電鉄の阪急六甲駅乗り入れ、これらが、ここ数年に六甲を変化させてきたようです。

―昔の阪急六甲を想い出すのも困難なほどの変化ですよ。

―駅を降りて驚くのが、駅そのものの立派なことです。

阪急六甲は阪急六甲駅ビルに象徴される。グリーンのトーンが、雨の八幡神社の樟の大木とマッチして美しい。坂道が、駅をそれだけロジック風に仕上げている。

地下は、フードストア・オアシス。年中無休は有難いが、十時から夜の七時までとあっては、買物も忙しい。

―でも、ほとんど間に合うワ。風月堂の菓子もあれば、生鮮食料品もある。雰囲気も上品だし、それだけ結構買物してるんじゃないー楽しいのが、一階の阪急ファミリーストア。スギヤにせよ、キャロルにしろ、三宮まで行かなくても十分眼の保養になる。

―しかし、ちよっと値を張るのになると、どうしても三宮、元町ね。

―オシャレでは、駅の北側のビルの端に店を出したウイスタリア。

最初はビルの五階で開業していたあれではやるのか心配だったら、いつのまにか、下に店を出した。

―選ぶのが面倒な奥様族をガッチリとつかまえている感じね。

駅前ビルの二階を六甲プラザという。今年開店したばかりで、まだ部屋が二つほど空いている。中央に可愛いホールがあって、造花がムードを出している。ボーリング場にする予定が反対運動で六甲プラザとなった。紫色の椅子にピンクの花、赤い幌の目印しは、喫茶・ジナンボーである。ローティーン好みの店だが、学生が結構入っている。南天荘書店のスペアが大きい。国鉄六甲道駅の南天荘は、市街地再開発地区に入る。

★時計屋に靴屋のない六甲界隈

―昔は、歌麿というスタンドのおでんが実にうまかったな。今は、

兵庫相互銀行六甲支店になった。

― 待望の銀行ができたわけね。

― ついでに郵便局がほしい。

― それに、時計屋・靴屋。

― うまいものでは、スタンド・梓

のカレーだね。独特の甘味がある

― ママの素人っぽさがいいね。

― 陶板焼が食える。三宮まで出る

ことはない。

― 焼肉なら六甲駅ビルにできたま

やはどうだろう。高原の味だ。

― 洋食では、イル・ドゥで大体ま

に合う特徴がないね。

― それは、隣りにある中華飯店の

一番館にしてもそうだ。

― 飲食店は、阪急六甲界隈では難

しいだろうな。学生を対象にする

には学生数が少ない。地元の人

は大阪・神戸で食事をしてくる。そ

れだけ一品料理に力を入れてもら

いたい。

― その点、駅の南側にある六甲ア

パートビルのグリル・六甲山の焼

めしはいいですね。

― 学生がよく利用してるようね。

― お好み焼も量があるし。六甲苑の

餃子もええワ。

― お菓子は断然、ロックのシ

ョートケーキ。パバロアもい

い。

★一度はのぞきたいジュニア

ルウ

六甲はターミナルである。

阪急六甲駅には山陽電鉄が入り、市バスは阪神御影から、阪急六甲で満員になって神戸大学、六甲台団地、鶴甲団地、六甲ケーブルへと動く。

三宮からくるバスは神戸外大にまわる。六甲をでるバスは、高校生路線といわれるぐらい沿線の高校のスクールバスとなって篠原から青谷を経て三宮に至る。朝夕は大変な混雑だ。六甲山頂行きのバスもあれば、夜はタクシ乗場に列ができる。

昼は喫茶店の街だ。

― 駅前のフロッレンスが入りよいが、ちよっと騒がしい。

― 学生の溜り場は六甲パーラーだ。マスターが若くていい。

― しかし多いね。駅ビルのジナンボウに、構内の水中翼船。

― 朝八時からでコーヒー50円とは便利だね。

― ただ女の子が良く変わるのがある意味では残念。

― 西に行って、出来たばかりのヴェニスに、六甲の名物ジュニア・

阪急六甲駅前は華やかな風情である

ルウ。こわれた時計も面白いが、たむろしている可愛い子ちゃんも楽しみだ。あやしげというより、可愛いままことの店の感じだね。

― 駅前ビルではヴィオレッタがいい。ムードがあって、コーヒーでねばる学生が多い。

― 女の子が目的じゃないかな。

― 騒がしいのでは駅ビルのホット

いつも見られている感じがする。

― 南におりと、六甲アパートビルのイフ。それと、ウィンドウに

小物を置いているシャン。四、五人で一杯になるほどの店だが、ギ

ター片手の高校生がウロウロして

いる。

― 六甲は喫茶店も多いが、医者も

多いね。

★昼はコーヒー 夜はビリヤード

六甲はやはり昼の街だ。夜も八時になると、駅からバス停まで急

ぐ人と、坂道を四方に散る人だけ

だ。自他共に許す六甲の住人も、

アルコールに関しては、これとい

う店がない、という。六甲では、

中途半端なスタンドでもだめ

といってクラブができる筈が

ない。

神戸・大阪よりは安く飲め

自分の城をつくれる。これが

魅力だ。

夜の六甲で一つ眠わっている

のが、駅前ビルの三階・四



階のビリヤード・六甲山である。

駅の北側いやでも大きく看板が眼につく。夜の十一時まで営業。四

ツ玉八台、ローティション、スリークッション各一台。七割は学生さんとのことだが、料金は四ツ玉で一人一分三円。他は四円。

一六甲で遊び場というところ、若い人はジュニア・ルウ・学生は六甲パラー、アベックはフロレンスにはまり込んでゐるね。

一ジャン荘がないもんね。

一あの、六甲プラザなど、空間をもっと利用したら立派な溜り場ができるけど。

一中央にベンチを置いて、彫刻を学生が出品したらいい。

一学生がいてる割りに、学生街の雰囲気がない。ローティションのそれも女の子の街みたいだ。

一大人はどうしても神戸・大阪にでる。店も三宮の小型化したのが多くなるんじゃないか。

一でも、高級な三宮の店がたくさんできることは望ましいね。

一駅を中心に栄えるといつても、北と南とは全然違う。

一南は神社があるし道路も広い当分変わらないだろうね。

一その点、これからは東にのびますね。神戸大学が東にのびて石屋川まで行った。六甲

・有馬へ行くのでも石屋川沿いのドライブウェイを走る。それだけ今後、登山口から神戸外大、石屋川沿いの道路にドライブ・インができるのじゃないか。

一神戸大学の教養部へ行く途中にガラス張りの喫茶・六甲がある。現在階上だけ使っているが、ジュークボックスがやたらやかしい

★教育の街・緑の街

六甲は教育の街でもある。そして緑の街でもある。幼稚園が三つあり、いたるところでパレエから手芸・お花にいたる練習場がある。駅南のビルには鳥村好子パレエ研究所、階上では様々なおけいこ。駅北側の東京園芸の花屋さんの



こわれた時計がずらりと並べてあるので、何時か分らなくなる「ジュニア・ルウ」

階上は、未生流などの家元教場である。ギターに英会話。電柱には家庭教師のビラが目につく。

一駅前にビルができて古い店がなくなつたね。

一出前の鮎は一級品という鮎の彦六が頑張ってるワ。

一新しい店が多いだけに名前にも苦労してるな。あいつしとはよく考えた。

一しかし、狭いところに何種類もの店ができたことは、副都心の資格充分やないか。

一ドガが六甲に店出すそうやが。

一もうこれからは、車の時代だし三宮でお客を待ってる時代とちがうね。積極的に攻勢にでてきた。

一まだまだ六甲で遊ぶというのは下駄ばきの気易さがある。それだけに中途半端ではつぶれるし、現に失敗したところもある。

一阪急六甲界限の賑わいは、昔ながらの坂道と緑から生まれたオアシスだ。ボーリング場建設を反対した良識がつくりうる街づくりがこの甘い、造花に囲まれた阪急六甲駅ビルに象徴されている。

カット・岡田 淳

☆神戸っ子愛読書映画優待券

このコーナーをご持参の方は

神戸新聞会館大劇場で

上映の観覧料が優待割引されます

一般500→400円

学生400→300円
小人250→200円になります

ムツシユー・ド・コウベ②

小曽根実さん

竹田洋太郎

たとえばあなたがテレビの「おやじバンザイ」のファンだとする。ある日阪神三宮駅の改札口で西条凡児さんにバッタリ会ったとしたら、恐らくあなたはヒョイと頭を下げるであろう。

というのは、私にもこれに似た経験がある。私は11PMという読売テレビの番組が始まった時からファンであった。

たまたま、神戸っ子が主催した神戸の「酒祭り」が11PMにもオモロイとあって、テレビの人たちが祭りにやってきて、さらに祭りに関係した何人かが大阪の読売テレビに出演することになった。私も、紋付羽織袴を着せてもらって、チョンチョン喜んで出してもらった。本来オッチョコチョイにできているんですな。

そうなると、藤本義一さんとか安藤孝子さんとかはまるで友達みたいな気がする。といっても気がするだけで友達みたいな口はきけない。ただ一人神戸っ子で11PMの電子オルガンをひいていた小曽根実さん（ミーパー）だけは、かすかに面識があったから、つい友達みたいな口をきいてしまった。いらい、いつの間にか友達みたいになってしまったのである。二度目に11PMに出た時は新聞記者としては先輩の大森実さん（この人も神戸っ子だが）が出るはずの場合に時間の都合で出られなくて私がスタンディンみたいな格好でゴーゴーを踊らされた。もうこの時は、小曽根さんと友達だから、まるでテレビのレギュラーみたいにエラソウに現場をウロウロしていたのである。実は小曽根さんがいなければ、あの難然としたところでは私も場がもてなかったわけだ。

そういったおつき合いから、小曽根さんの人柄がわかってきた。テレビ局で内心途方にくれているヨソモノの

私にもわずかの面識だけで気軽に話してくれる親切、というよりスマートさと屈託のなさ。それはテレビを通して、あるいはラジオ関西のさんちかタウンのサテスタなどで御覧になって感心しておられる方も多いと思う。

小曽根さんはなによりもまず「ミュージシャン」である。これを「音楽家」と訳してしまうと、ちょっとちがう。オルガニストとかピアノリストとかいう音楽家はたしかに存在する。そういう人たちと小曽根さんとうちがうかをうまく説明できないが、つまり、ピアノを正式にならってひいているうちに音楽家になる人が一方、頭の中に音楽がうずまいていて、そのハケ口としてピアノなりオルガンなりが身についていた。そういう人をミュージシャンといえるかもしれない。

小曽根さんは小学生のとき自宅のピアノをポロロンポロンと鳴らしていたら、父上が「男がピアノなんかひくものじゃない」と禁じてしまったそうだ。小曽根さんのお父さん、私の知る限りではそうガンコとも見えないが、時代も時代だったのだろう。

家で禁じられるとよけいにひきたくなる。滝川中学へはいつから音楽の大塩先生にすすめられて学校のピアノをひくことを許してもらった。これが「禁じられた遊び」だね。（ダジャレ）そして関大では軽音楽部へはいつてジャズピアノをやる。また神戸では当時生田署前にあったアメリカ文化センターにアマチュアのジャズ気狂いが集まってディキシランド・スタイルの「ハート・ウォーマーズ」というバンドを作った。ここでもピアノをひき、そうこうしているうちにミュージシャンになったわけ。

米国のジャズのミュージシャンには楽譜の読めない人

も多い。音楽とは本来そんなところもあるので、楽器が自分の肉体の一部になってしまっているから、楽譜が読めなくてもいい。小曽根さんもジャズが身についているから、ピアノやオルガンの鍵盤はもう肉体の一部だが、日本ではそうはいかない。ピアノが先、楽譜はやむにやまれず頭にタタキ込んで、NHKでオーケストラと一緒に演奏したし（この時は冷汗ものだったというが）最近では作曲も手を染めている。どこか遠い所に中学生のファンがいて「私の詩に作曲して下さい」と毎週レターをよこすそうだ。

こうした「実戦的音楽」は楽しくてしかたがない。そこで人にもその楽しみを電子オルガンを使う音楽教室

も開いた。先日そのお弟子さんの発表会をやったら、お父さんがこられて「よくやった」と始めてムスコの音楽に満足されたという。それがまた小曽根さんにとつてとてもうれしかった。なかなか古風なところがあります。

古風といっても、小曽根家は兵庫の商家としては数百年の歴史がある家だ。ビジネスマンとしての血は流れていて、一方で冷暖房装置の輸入や設備の会社をしている音楽といっても、耳をすましてきくものと、どこかなくきこえてくるものがある。電子オルガンはこの後の方に適した楽器だからその可能性を高めようと工夫をこらしているそうだ。どうかいいオトを作ってほしいものである。



「スライス」のとり木で 小曽根 実さん

ケ、ツ、タイ、な時代

向井修 二 ハイメージプロデューサーV

男がウエディングドレスを着て美？を競うコンクールに応募者が何んと、五〇〇人集まったとは……。そのうえ上位入賞者は視覚的にはまったく男には見えないし、口をそろえて「ウエディングドレスを着てとてもいい気持／＼」とぬかす。一発当ればスターになるとばかりハレンチな行動やハレンチな言葉をふりまく、何かあせりがあるのだろうか？街のホステスもウエイトレスもサービスも知らずにいばりちらし、ドラ息子どもはオモチャ代りにあてがわれた自動車で人をはねとばし、親に泣きつき金で解決、めでたしめでたし。親は子供に気をつかい、親孝行が変じて子供孝行の親がいっぱいである。政治家はいつもニコニコ規格化した画一的な発言でアクビがでる。優秀だから教授であるのであって、教授だから優秀だといってみても、もはや何の権威もなくなった時代である。せめて大学だけは職業上かレジャー上必要な免許書がわりに思っ、出ておきたいといったたぐいの大学生もいるし、爆発物まで学校内にとり入れ、暴動をおこし政治運動を学校問題の中にもちこみ、わめきちらす大学生もいる。又そういうものを全面的に支持するのが進歩的だと思っているインテリたち、ピンク全盛の映画界においてセックスの科学的表現だそうだが、何んだかだまされたような映画、映画映画。国民総生産世界第二位、国氏一人当り所得は世界二十数番目サラリーマンの一日の小遣いが平均二百円。この連中は暴動を起こしたいぐらい税金をはらいながらもやっと、ユニオンなどといったしたのが遅いぐらいのやさしい子羊達。日本万国博はモントリオルの万国博を見に行けなかった人々のためのリバイバルだと思えるぐらい同じだしものでいっぱい、進歩もない。ただ何とかオリンピック同様カッコをつけることはまちがいない。又お祭り広場で全学連が暴れまわり暴力広場になりかねない様子。物見高い日本人、や

んやんやと喜ぶことうけあいである。四、五〇〇人を一度に運びそして殺すことも可能な超大型ジャンボジェット機が飛び廻ることも可能な時代。6万円の化粧品が飛ぶように売れるのも理解に苦しむ。中学生に毛がはえた程度の話術しかない前田武彦が毒舌家で人気があり、大橋巨泉のように恥ずかしさを忘れた男が通人としてもてはやされる。マスコミがマスコミからネタを仕入れる情報混乱の時代だ。女の裸でほとんどの週刊誌がよく売れ、今やフリーセックスとばかりはりきり、スエーデンがさもそうであるようにいい、又書くものしり達。男が喜び、性病で男が恐れる時代。いろいろなことがいろいろありすぎてとまどっている人間が多い。小世界の中で何も感じず生きている人間も多いことも不可思議なことだ。そろそろ昭和戦国時代になりそうだなあ……？



スタンド

BARON

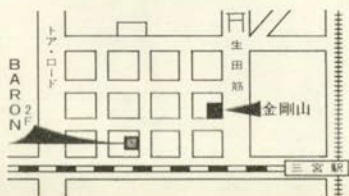
生田区北長狭2-12 TEL ㊟ 1909

DRINKING



★スタンド「BARON」は、2月25日2周年を迎えた。武ちゃんこと西島武志さんが一人で（もとは奥さんと二人だったが二世誕生のため引退中）頑張っている気さくな店。場所は生田新道農業会館前神戸トルコの道を南下。一筋左に折れてタバコ屋の角を下ったところの二階。

店内には神戸の飲み屋のコスターが天井にずらり、いながらにしてハシゴ酒ができる寸法。壁には津高和一画伯の裸婦。これがまたなかなか良い絵。今や32才の男ざかりなのに若くみえちゃう武ちゃんは「ぼく一人ですからお酒をのみにきていただいておしゃべりを楽しんでいただければ…」という。最近、20才すぎのBGが多くなった。そしてサラリーマン、40才前後のオジサマ族というところ。ストレス解消にもってこいの落書き帖ももう10冊目。音楽もクラシック、タンゴ、なつメロと庶民感覚である。ビール（小）200円、オールドサントリ-300円、シチユ-300円。午後5時~12時まで。



スタンド

丘

三宮全但会館東側 TEL ㊟ 3702



★生田新道の西、全但会館のすぐ東側に「スタンド丘」がある。ママは長谷川裕子さんという色白の和服美人。お母さんといっしょに店をやっている。

お茶漬けは家庭の味。この店の自慢のひとつがお茶漬け。ママの裕子さん「丘」が家庭の延長であるよう常に心がけている。この店のもうひとつの自慢は山菜料理。いながらにして家庭と故郷の両方が味わえるというわけ。

またお母さんが花柳流の名取りなので、余技として、希望するお客さんに踊りも教えておられる。この家庭的雰囲気がお客さんには大へんな魅力。それだけに常連の客が多く、大阪からの常連客もかなりいるそうだ。営業時間は午後5時から12時まで。日本酒（刺羹）200円、ビール 250円、つき出し100円から。

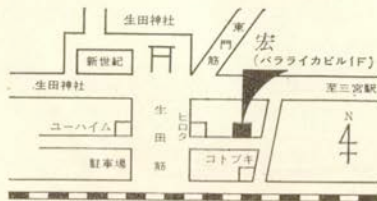


リラックスなひとときを
スタンド 宏で……

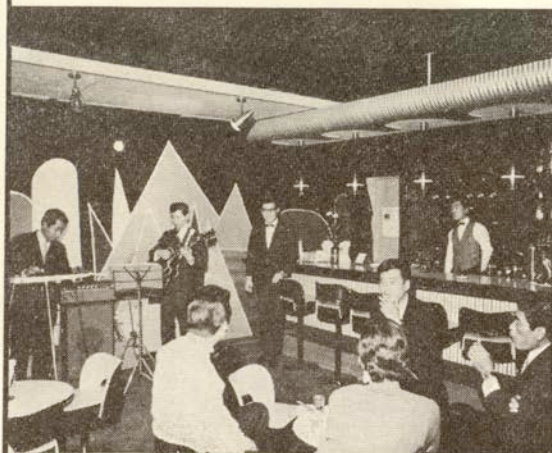


スタンド **HIRO** 宏

神戸市生田区北長狭通1丁目22 パラライカビル1F ☎2816

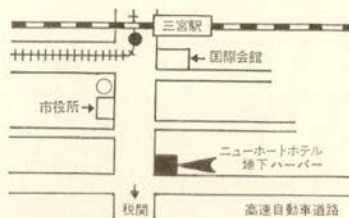


ちょっと錨を降ろしてみたいくなる
《ハーバー》はそんな
ムードの新しい神戸の穴場です。



REST HOUSE
HARBOUR

三宮ニューポートホテル地下 TEL 23-4171



ジャルダンはフランス語で
 花園ということば
 理屈ぬきに楽しい店
 ジャルダンは
 あなたのいこいの花園です

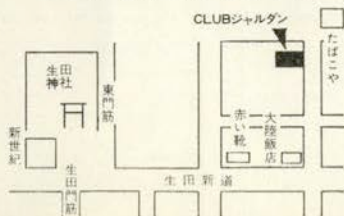


CLUB

ジャルダン

神戸市生田区中山手1丁目111

TEL 078 <33> 8 5 8 9



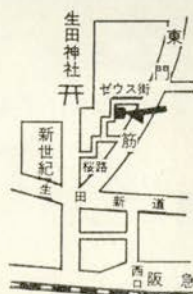
setsu

ご家庭の雰囲気で
 楽しめる
 あなたのスタンド



スタンド

勢津



生田東門筋

ゼウス街

TEL <39>0516



神戸百店会 だより



★故菊水吉之助氏に 勲六等

さる二月一日他界された菊水総本店会長菊水吉之助氏に生前の功績に対して、勲六等旭日章が授けられた。



故菊水氏は商工会議所で二十数年議員、小売商業部会長として活躍され、戦後の混乱期に商店経営者をまとめ、兵庫商店連合会、神戸市商店連合会を設立し、その初代会長として、今の連合会の基礎作りに努力された。

菓子業界にあっては国内外共にその宣伝につとめ、晩年は、全国都市区域連合会の副会長として、日本の都市計画問題に力を注がれた。

★田崎真珠京阪神各地の 春の展示会ごあんない

田崎真珠では、'69春の新作展示会を神戸、大阪、京都の各地で開く。今年の面白い商品は、アメジスト等の色石を使ったリング。値

段も比較的安く、お客の人数を呼ぶことだろう。展示会は次の要項で開かれる。

× × ×

▼パールファーム神戸開設一周年記念特別セール

4月4・5日9時〜6時

田崎真珠六甲台工場内

▼春の新作展示と即売会

4月11・13日10時〜6時

京都岡崎ホテル

4月24・26日10時〜6時

神戸オリエンタルホテル

5月20・22日

大阪・新阪神ホテル

★TVヤング720

神戸芸夢で取材放映

若い人たちに人気のある

早朝TV番組の「ヤング720」が、二月二十二日に

神戸トラオードのコスチュ

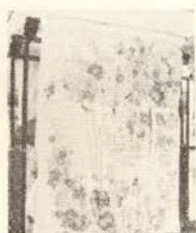


ームアクセサリー店「芸夢」へ、早瀬くみ入神戸出身Vがインタビュアーとなって取材にあらわれた。おしやれタウン神戸の話が、二十四日七時三十分より放映された。

★中川衣裳店の 春の花嫁衣裳展開かる

中川衣裳店では一月十五日、十九日、二月二日、と新春より「春の花嫁衣裳展」を開催してきたが、三月二日（日）日生川重ビルで今春最後の展示会を開いた。

和洋合せて、約二〇〇点の花嫁衣裳が展示され、この春結婚されるお嬢さん達の予約で賑わった。



和装では、色物の打掛が人気を呼んでいた。洋装では、可愛らしいレースなどのついたオーソドックスなものが多いとあって、春のシーズンが終ると、秋のラッシュで結婚式も一休みといったところで、この展示会も秋の花嫁さんのために六月からまた開かれる。

三月六日はオリエンタルホテルで「花嫁着付ショー」を開き、ノルウエーの観光船「サガフイヨール」号の観光客を喜ばせた。

●ショップ・トビックス

★御本真珠では、4月7日8日の二日間オリエンタルホテルの特別展示会を開きます。いろいろの宝石をあらためずらしい時計が、皆様のお目をとめることと思います。おさそい合わせの上ぜひお越し下さい。

★大丸前の舶来靴、ヨシオカにイタリヤ製の春、夏の靴が入荷しました。カラーがステキです。足を留めてお立ち寄り下さい。

★服部メガ本店にドイツ製のサングラスが豊富に揃っています。サングラス、フレーム共に、とってもカラフルです。

★汽車やお船のアップリケが可愛い。フリアリアの、のりものシリーズ子供服が、入学、入園をひかえらび、子達の間で流行中です。

★舶来雑貨の「サノヘ」では、サノヘが世界各国へ特別オーダーした品々が到着。4月の初旬、元町店で展示会を開きます。お楽しみ品々は、イタリヤ、ドイツのレザーグッズ、ヨーロッパの伝統を秘めた服飾品などです。

★上島島根本店上直営のUC上島コービィヨフ、UC上島フールツパワが3月5日、熊本交通センタービルにオープンしました。これでUCの直営店は十六店になりました。

★「コトブキ本舗」の事業部、販売部、外販部、商事部、宣伝部が2月1日付で、寿本舗式車庫工場（尼崎市今北小倉）「TEL大阪四二九一三三三」に移転しました。尚、その他の部は従来通りです。

ポケッジョーナル



★昭和築城 花隈駐車場完成

神戸市が四十二年十月から工事をすすめていた花隈駐車場が三月に完成、三十一日の式典のあと、四月一日からいよいよ営業をはじめた。

同駐車場は年々むづかしくなる花隈付近での駐車難を一挙に解決するもので、花隈城跡の地下につくられたもの。工費五億六千五百万円、自走ランプ式で内部は三層になっており、延床面積九千平方メートル、収容台数二百八十台。

地上は再び花隈城の石垣が復原され、花隈公園とし



花隈駐車場の石垣

て新しく生まれかわった。

駐車場の躯体は鉄筋コンクリート造りだが、この復元のために小豆島から約千四百メートルの花崗岩と四百メートルの丹波石が運ばれ、昔日を偲ばせる石垣を築いた。

なお駐車料金はAM9時からPM9時まで30分につき50円それ以外は一時間につき50円

★親子運動会で公園びらき

塩屋台公園の完成を祝って「公園びらき」が、三月二日(日)地元自治会主催で開かれた。

同公園は昨年の十一月から工事にかかっていたもので、約千二百平方メートルの広さで、公園内には、パターゴルフ、砂場、低鉄棒、ベンチ、などが整備されており、今後の管理は地元の自治会に委託される。

塩屋台は約五〇〇戸の戸数を持つ住宅地でありながら、公園らしい公園がなく、地元の自治会が神戸市に依頼して、この公園が完成し

たもの。

当日は朝九時より清拭が行なわれ、来賓の挨拶の後、子供達と父兄がいっしょになって運動会に興じ、戸外での楽しい一日を過ごした。



親子運動会風景

「これは自治会活動が活

発ですので、母親のバレーボール大会、コーラス発表会などの場所として、子供ばかりでなく親子共々に楽しめる公共の広場が出来たことは、私達にとって大きな喜びです。四月から、この公園のすぐ隣りに公民館の建築にもかかりますのでこのあたり一帯(塩屋町字梅木谷)が塩屋台の文化活動の中心となるのは、もうすぐです」と自治会長の堀口氏は語っている。

★笑いを研磨する

上万落語会・ポート寄席

最近では若手落語家の人気上昇気味。ブ라운管で落語家が落語をするだけでなく珍しい時代だ。特に東京からの電波攻勢が実に強烈。

誕生日
ありがと
運動



「だい五かい
なかよし作品展」



市内のからだの自由な児童、生徒、特殊学級児童の作品展「なかよし作品展」が二月二十五日から二十七日まで開かれた。市内の児童、生徒のほとんど全部が出品している。出品数千点を超える大規模な展覧会になり、宮本小学校の講堂のほか、教室ひとつに作品がぎっしりと並べられた。またこの展覧会と同時に、児童文化会館で、学校どうしの「なかよし交歓会」もおこなわれて、歌や遊戯でお互いの親睦をはかった。

余賀一雄著

「愛と共感の教育」(柏樹社刊)

柏樹社「東京都文京区本郷三丁目三〇番五号 振替東京三三七二四一冊一〇〇円 送料二〇円

誕生日あがり運動事務局「神戸市箕谷区小野柄通二ノ五 青陽養護学校内」(一五五九九

事務局では献金、古切手取集も受けております。

これでは落伍するものが出てくると気付いた上方落語協会(会長・松鶴)が、大阪で毎週土曜日、寄席のハネたあとで古典落語の勉強会を三劇場で演じているアイデア・エージェンシーの間島氏が、松鶴師匠に持ち込んだ企画がポルト寄席。毎月第二火曜日に、国際会館五階の小ホールで行なわれ、二月十一日、三月十一日、今後は第三回ポルト寄席を四月八日を持つ若手落語家全員の持出しで、交通費、ギャラに関しでは文句をいわない、という純粹の勉強会。

ところが、第一回のポルト寄席では、人気絶頂の桂三枝が新作を演ずるとなる、場内一五〇人の八割を占めたローテーションの騒ぐこと。三枝が済むと皆なゾロゾロと退場。他の出演者の士気の上らぬことおびたらしい。

神戸でこそ育てたいポルト寄席だが、古典落語の難しさと同様、聴衆の対象をどこに絞るかの問題が残っている。

なお、後援のサンテレビラジオ関西も、今後の発展を見て本放送に流す可能性もあるとのこと。

第三回は、四月八日、国際会館小ホールで6時30分から。入場料は二百円。

★流派を超えて

「船弁慶」みなとの栄」上演

「踊る人間」は身体が鍛錬されて達者なのかもしれない。と桐山宗吉さんが兵庫県舞踊文化協会創立20周年記念公演のパンフレットに一文を寄せている。戦後創立以来20年。各流のオシヨさん連は全部今なお活躍中。その実力を見せてくれたのが三月二日国際会館で演じられた「春・弥生桜源平絵巻」。特に「船弁慶」みなとの栄」は流派を超えた演目に、呼び物となった。たいいてい最終は観客が少なくなる舞踊会も当日は最後まで満員。熱演を見守った



舞台船弁慶

ら、師匠連の競演もさりながら、神戸新聞事業部の企画に拍手を送る。これを機に来年から一層新しい企画で中堅派もまじえて、水準の高い各流派の競演なり新作会にしてはいいもの。

★三宮そごう増築

第二次オープン

二月二十八日、そごうが第二次増築のオープンに、



人形と橋本武先生

地方地方には、古くから受けつがれ、愛されている特色ある郷土人形、郷土玩

★各地の郷土人形六千点



花をそえた楽団演奏

1階特設ステージで、ファッションページェントを開いた。また、ファッションページェントには、小曽根実トリオ、軟富誠三とバリースモーク、プシケ弦楽四重奏団と楽団演奏があり、花をそえた。

方向がわからないサイレン音

★ドライバースメモ



川口陽之(自動車評論家)

監視片がパトカーのサイレン音を改良しようとしている。市街地で車を運転している時、消防自動車や、パトカーのサイレン音が聞こえても、前方からきているのか後ろの方からなのか、わかりにくくて、どちらへ避けるべきか迷うことが多い。なぜサイレン音はこのような音の発生方向がわかりにくいのであろうか？

人間が音として聞きとれる最大の音は、百三十ホンまでで、これ以上になると、音として感じなくなってしまう。パトカーや、消防車のサイレン音は百二十ホンまで法的に許されているのでこの可聴限界ぎりぎりの大きさになっている。このような大きな音になってくると、音の発生方向を知る作用をしている左右の耳に、発生源がわからなくなってしまう。緊急車のサイレンは、連続して鳴らすよりも、断続して鳴らしてその間に小さな音をまぜる方が、他の車が避けやすいのである。と同じように、マイカーのクラクションも歩行者にあまり近よって鳴らすと、方向がわからなくなってしまう。方向の進行方向へ逃げ、事故になることがある。マイカーのクラクションは、十メートル以上はなれて鳴らすようにすることである。

具があるが、全国の玩具を
あつめている人が神戸にい
る。

灘高等学校で国語科の教
諭をしておられる橋本武先
生がその人。若いころに興
味をおぼえ、戦後になって
からはやみつきになり、年
とともに玩具、人形の数も
ふえてきた。最近、魚崎か
ら本山へ移転されたが、自
宅内に人形部屋をつくり無
数の人形を収めている。現
在ではその数五、六千点に
ものぼり、まだまだふえて
いるそうだ。

なかでも橋本先生は神戸
人形に大へんな興味をもち
数十点あつめられている。
神戸人形は、明治中ごろに
生まれたいかに神戸らし

花時計



花ひらく神戸の文化

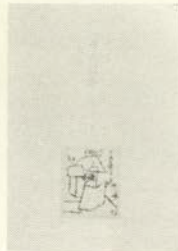
今年は神戸の文化界は当
り年になるらしい。

まずは作家の陳舜臣氏が
直木賞を獲得、いままら直
木賞でもないだろうという
風評があったにしても実力
作家の真価を認めさせたこ
とは痛快なことである。
また、三月は早々から鴨

い清新奇抜な人形。黒ん坊
が真赤な口をあけて酒を呑
んだり、西瓜を食べたり、
唄いながら三昧をひいたり
するカラクリ仕掛けの人形
で、一時は廃絶の道を進ん
だかにみえたが、細々ながら
命脈を保ち、今も見る人を
喜ばせている。

★竹中郁詩集「そのほか」

「きりん」や童詩の世界
にエネルギーを傾けてきた
竹中郁氏が、僕はそのほか
にもやっとなで、というこ
とで珠玉の名篇をまとめた



居玲氏が安井賞を受賞。中
央画壇の榮譽を神戸にいな
がらにして堂々と持ち帰っ
てきた。

神戸文化論を語る人は、
神戸は微温的環境につつま
れているためにいい文化が
育たないことを指摘したも
のだが、逆に神戸の街だけ
が育てることの出来る文化
についていう人は少ない。
神戸はある意味では日本に
ただひとつの市民のいる町
といえる。そこに自然に培
われて生れる文化があるこ

ものが、詩集「そのほか」。
尾崎一雄氏の提案により
二時間くらいで読めるもの
という厚さで詩は二十一篇
そのほかには短篇小説一篇。
装幀、装画、並びに二葉
のエッチングも著者の苦心
の作で、竹中氏曰く。

「まあ、素人の画だから
間違ってもええですわ」
この詩集は前の詩集「動
物磁気」に続くもので、お
よそ二十年間の作の中から
選びだしたもの。いずれも
作者の氣に入りのものばか
りである。短篇小説八見
舞Vを収めたのも愛執が断
ちがたかったからとのこ
と。

竹中郁氏の新たな魅力に
きつとりつかれる詩集で
ある。

限定一五〇〇部 中外書房刊
定価千円 署名本千五百円

とは見逃せない。開放的で
由性をもった市民文化がこ
れから花ひらき、実を結ぶ
ものと思われる。

いわば非常に大人っぽい
文化が神戸にある。これは
神戸市民が誇っている素晴
らしい所産である。また、
神戸の文化は新人の育ちや
すい風土と環境をもってい
る。これも神戸の文化の可
能性を物語っている。

新しい文化の担い手が太
きく翼をひろげられる町、
それが神戸なのだ。(Y)

★コウベ

ムービーコーナー

「フアン・ガール」

「ウェスト・サイド物語」「サウ
ンド・オブ・ミュージック」など
七〇年代のミュージカル映画が大
ヒットし、アカデミー賞を数部門
獲得したことはまだ、目新しいこ
とだが、この「フアン・ガール」
もハリウッド最大の巨匠ワイ
リアム・ワイラー監督が手がけた
初の七〇年ミュージカル映画で
ある。

内容は、一九一〇年頃から一九
三〇年代にかけて、ジグ・ファル
ド・フォーリーズの大スターとし
て人気のあったミュージカル女優
フアン・ブライズの波乱に富
んだ半生を描いたものだ。一介の
踊り子から、スターを夢みて、苦
心の末に大スターになり結婚、育



児という道を進むが、夫の事業の
失敗などから、舞台にカムバック
し、愛する夫とも別れて強く生き
ぬいていくという愛と感動のドラ
マである。

出演はフアン・ニートにニューヨ
ク界の売れっ子スター、バーブラ
・ストライサンド、大役には「ド
クト・ジバジ」のオマー・シヤ
リフ、他にテレビ「ハニーにおま
かせ」でおなじみのアン・フラン
シス等の豪華な顔ぶれ。

四月上旬、新聞会館大劇場にて
ロンドン公開。
●毎月応募ハガキの中から抽選で
十名様を特別試写会にご招待。



★屋外物広告看板・プラスチック看板製作
東亜広告株式会社

葺合工場・階上★地区の会合場

長谷川会館

取締役社長

長谷川忠義

神戸市葺合区旗塚通3丁目1番地
 TEL (24) 0005・0006・0007・0008

こんにちは!!
 ごきげんいかがです
 赤坂を
 愛して下さる
 みなさま
 お心に
 添うよう
 お待ち致し
 おります



鯛の塩釜焼は
 魚じまの季節

赤坂名物です

神戸肉を焼いて
 野菜をたつぷり
 舌つつみが
 絶えません

アフオルメ
 抽象画のある

お料理と旅館

赤坂

神戸
 中山手 4

(22) 7836・7846